

水鏡

水道・下水道特集

No.86
6月1日～7日

平成22年度水道週間
スローガン

水道に 寄せる信頼 飲む安心

水道週間とは、水道について国民の理解と関心を高め、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図るとともに、水道の今後の発展に役立てるため、厚生労働省が昭和34年に設けたものです。週間は、毎年6月1日から7日まで。

市では、期間中に水道庁舎前に啓発看板を設置するほか、水道週間のある6月に施設見学会を実施するなど、市民の皆さんに上下水道についての理解と関心を高めていただこうと考えています。

平成22年度の上下水道事業予算

水道管の計画的更新に

3億6000万円など

市水道部では、平成18年度に中期経営計画(平成19年度～23年度)を策定し、上下水道事業を運営しています。

しかし、昨今の著しい経済環境の変化や予想以上の人口の減少、さらに節水型機器の普及などにより、収入実績が減少傾向にあります。

平成21年度は計画の見直し年であり、この状況と過去3年間の取り組みや事業の実施状況などを考慮して、経営計画の見直しを行い、平成22年度予算を編成しました。

水道事業会計は、30億4930万円、下水道事業会計は47億9158万円の予算で施設や水道管の整備更新などを行います。

主な事業内容などは次のとおりです。

●水道事業会計

●配水管整備事業／3億6367万円

水道水の安定供給を確保するた

め、水道管を計画的に更新・整備し、耐震化も図っていきます。

●浄水施設整備事業／1億1400万円

安心して飲める水道水を供給するため、次亜塩素素注入設備などの更新工事を行います。

●配水施設整備事業／2310万円

上江別浄水場から文京台ポンプ場の運転状態を遠隔監視・操作するテレメータを更新します。

●下水道事業会計

●雨水管渠整備事業／3億3161万円

浸水対策とともに災害に強い施設整備を進めるため、大麻地区と工業町地区の幹線整備を行います。

●汚水管渠整備事業／4146万円

●汚水管渠更生事業／3000万円

●浄化センター整備事業／2億4380万円

浄水場の安定供給を確保するた

施設の改築計画を策定し、優先順位を明確にしながら、汚水ポンプの機械設備と電気設備の更新を行い、機能の高度化を図ります。

●ポンプ場整備事業／3800万円

大麻中継ポンプ場の無停電電源装置などを更新します。

●合流式下水道改善事業／1億8000万円

雨天時における放流水質基準が定められ、河川の水質など環境への負荷を低減するため、緑町ポンプ場のポンプ設備を更新します。

水道施設・下水道施設の

バス見学会を開催

1日約2万トの水が漁川ダムからどうやって江別にやってくるのか、また私たちが使った水はどうやって下水処理されるのかなどを知るため、水道施設・下水道施設のバス見学会を開催します。

▼開催日時 6月25日(金)8時15分～15時30分ころ。ただし、時間は、集合(バス乗車)場所により異なります。

▼見学会先 漁川ダム(恵庭)、漁川浄水場(恵庭)、浄化センター(江別)。



前回の見学会の様子

▼集合場所 大麻出張所、市役所、市水道庁舎(集合には、なるべく公

公共交通機関をご利用ください。水道庁舎には駐車できません。

▼定員 80人(先着)。

▼参加料 無料。各自、昼食をご用意ください。現地の公園で昼食を取る際の敷物を持参すると便利です。車内での飲物は用意します。

▼申込方法 6月2日(水)～11日(金)の間に電話で住所、氏名、電話番号、希望の集合(乗車)場所を水道部総務課(☎385-1213または☎385-1214)へご連絡ください。団体での申し込みはできません。集合場所は、後日調整する場合があります。

もっと水道水を

飲みましょう



水の味は、カルシウムやマグネシウムなどのミネラル分が適度に含まれることでおいしくなります。

このミネラル分の含有量が硬度と呼ばれるものです。

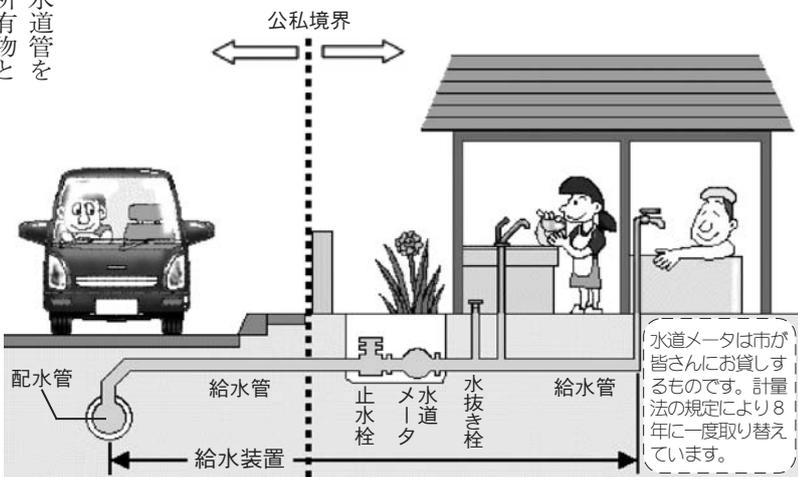
硬度とは、水質管理目標設定項目のうち、水道水のおいしさにかかわるもののひとつで、国の基準では、硬度の目標値が

10～100mg/ℓとなっています。江別で作った水は66.4mg/ℓ。これは国産のミネラルウォーターにひけをとらない数値なのをご存じでしたか？

しかも500mlで120～150円のペットボトルの水やミネラルウォーターと比べると、江別市で作った水は500mlで0.09円(原価算出)です。また、ペットボトルは、生産過程で環境に負荷を与え、リサイクルができて100%は困難で、最後はごみになってしまいます。経済的で環境にもやさしいのが水道水です。

これからの季節は、水温を10度から15度に冷やすと、さらにおいしくなります。どうぞお試しください。

漏水に注意を 給水装置の管理は個人です



道路に埋められている水道管を「配水管」と言い、市の所有物として市が維持管理しています。

この配水管から家庭に引き込まれている水道管を「給水管」と言いますが、引き込まれた給水管には、止水栓、水道メータ、給水栓（蛇口）などの設備や器具が設置されていて、これらを総称して「給水装置」といいます。

この給水装置は、設置された方や個人の所有物として管理していただくこととなりますが、このうち水道メータは市がお貸ししている器具で、合わせて管理をしていただいています。

これらの給水装置の耐用年数は、種類や使用環境などにより異なりますが、年数が経つと管の腐食や継ぎ手のパッキンの劣化などによ

り漏水して、多くの水道料金を支払わなければならないこともあり

ます。もし、水道メータの検針などで使用水量が増えているようなときは漏水している場合もありますので、このような時は水道部営業センター（☎385・4987）へお問い合わせいただくか、漏水を

発見したときは、江別市指定の給水装置工事事業者へ修理を依頼してください。

江別市指定の給水装置工事事業者
一定の資格を持ち、給水装置工事を適正に施工することができると認められる者として、江別市から指定を受けている工事店のこと

水道今昔③

財源問題で上水道事業に暗雲

古田島市長から昭和29年7月、国に出された上水道設置の認可申請の内容は、江別川（現・千歳川）を水源として、江別市街地を中心に1万3200人に上水を給水するものでした。当初は神社山に138m、高さ20mの高架水槽を設け、自然流下で給水する予定でしたが、認可申請後にポンプによる直圧方式に変更となりました。



全国的に戦後の復興期に入り、どこの市町村も水道事業に着手し、全国200件、全道20件もの新規申請が出されています。国もこのような新規のラッシュへの対応が難しくなり、昭和30年度の新規水道事業に対して、国は起債を原則的に認めないという方針を打ち出してきたのです。

このときの上水道事業の総工費は5400万円と算定されましたが、昭和27年の市の予算規模が1億7600万円程度で、市の年間予算の3分の1にものぼる工事費は、到底一般財源では賄えない金額でした。

このため、事業費のほとんどである5000万円を起債（国に認め

てもらう市の借金）に頼ることにしました。給水を維持するための運営費については、人件費や動力費が255万円、市債の償還金分が423万円、これらを賄う歳入は水

道料金として水道利用者に負担してもらったこととしました。運営費については特に問題は無かったものの、起債については国が借金を認める代わりに、市町村の償還分のうち何割かを国が肩代わりすることとなっているため、財源の乏しい国もおいそれと起債を認められない状況に陥っていました。

全国的に戦後の復興期に入り、どこの市町村も水道事業に着手し、全国200件、全道20件もの新規申請が出されています。国もこのような新規のラッシュへの対応が難しくなり、昭和30年度の新規水道事業に対して、国は起債を原則的に認めないという方針を打ち出してきたのです。

下水道は正しく使いましょう

～環境を守るため～

地球は青く輝く「水の星」といわれていますが、地球上の水のほとんどは海水で、残る淡水もほとんどが南極・北極の氷山。実際に利用できる水はわずかなのです。つまり、水は限りある資源ということなのです。

浄化センターは、限られた資源を維持するために生活から出る汚水をきれいにし、川に放流し、自然環境の保全に努めています。

×流さないで！捨てないで！

- 台所には 食用油、野菜くずなど。
- トイレには 紙オムツ、水にとけないティッシュペーパーなど。



- 汚水ます たばこ、枯葉、重金属、ガソリン、灯油など。
- 【詳細】 水道部総務課
☎ 385-1213

水道管を きれいにします



今年は大麻地区

きれいな水道水をお使いいただくため、毎年、計画的に水道管の大掃除を行っています。

水道水の赤水やにごり水の原因の一つは、「水道管の水あか」です。この水あかを取り除くため、水道管内に大量の水道水を一気に流すことで、管内部に付着している水あかを取り除きます。

この水道管洗浄作業は、市内を8つの区域に分けて8年周期で作業を実施しており、今年度の対象地区などは次のとおりです。

◎対象地区

大麻榎木町、大麻ひかり町、大麻南樹町、大麻晴美町、大麻園町、大麻東町、大麻高町、大麻宮町、大麻中町、大麻沢町、大麻扇町、大麻西町、大麻栄町、大麻泉町、大麻新町、大麻北町、大麻元町、

大麻の一部、元野幌の一部。

◎作業期間と時間

6月中旬～7月中旬の23時～翌朝5時30分。

なお、詳細は関係自治会の各戸に配布されるチラシのほか、当日は広報車でもお知らせします。

また、作業中は一時的に断水・水圧低下・にごり水などが発生することもありますので、対象地区の方は、作業当日に必要な飲み水などをあらかじめくみ置きしてご用意ください。

◎詳細

水道整備課維持管理係

☎383-2439

冬季の認定料金を 精算します

水道料金・下水道使用料は、現

■地区別検針日程

検針する月	地区
4、8、12月	大麻全域、文京台
5、9、1月	条丁目、緑町、萩ヶ岡、王子、一番町、弥生町、工栄町、東光町、上江別、上江別東町、上江別西町、上江別南町、ゆめみ野南町、ゆめみ野東町、江別太、萌えぎ野西、萌えぎ野中央、萌えぎ野東、豊幌、豊幌花園町、豊幌美咲町、豊幌はみんぐ町、角山、元野幌、東野幌、西野幌、高砂町
6、10、2月	野幌松並町、野幌末広町、野幌住吉町、野幌代々木町、元江別、若草町、元町、牧場町、元江別本町、見晴台、対雁、元野幌の一部、中央町、野幌寿町、野幌屯田町、野幌美幸町、新栄台、文京台東町、文京台南町、文京台緑町、向ヶ丘、幸町、錦町、いずみ野
7、11、3月	野幌町、美原、篠津、中島、八幡、野幌東町、東野幌町、東野幌本町、朝日町、あけぼの町、野幌代々木町の一部、東野幌の一部、錦町の一部、緑ヶ丘、西野幌の一部、あさひが丘、野幌若葉町

※積雪期間は検診可能な家庭や事業所のみとなります。

行料金を維持するため、使用実績をもとにした見込水量（認定水量）で3か月間料金を毎月いただき、4か月ごとの検針で料金を精算しています。

冬期間は積雪により、屋外の地下式水道メータの検針ができないご家庭や事業所は、認定水量で料金をいただく期間が通常よりさらに4か月長くなっています。

このため、家族数が増減したり融雪槽に水道水を使用したりするなど使用状況の変動により、認定

水量と実際の使用水量との間に差が生じ、精算月（検針する月）の料金が前月の料金に比べ、一時的に多くなったり、反対に料金をお返ししたりする場合があります。

認定水量は概算ですので、出産や進学などによる使用人数の変化や、長期不在などで使用水量の変動が見込まれるときには、ご連絡ください。

☎385-4987
◎詳細 営業センター料金担当

水道料金のお支払いは

水道料金のお支払いには、便利な口座振替をおすすめします。留守がちのご家庭やお忙しい方などには、大変便利です。



便利な口座振替で

- 手続き お取引のある金融機関の窓口にて、領収書と預金通帳およびご使用の印鑑をご持参ください。
- 振替日 毎月25日。
- 取扱金融機関 銀行・信用金庫・農協・信用組合・ゆうちょ銀行・郵便局。経営の効率化と環境問題への配慮から、領収書の送付を省略する取り組みを実施しています。領収書の不要の方は、水道部営業センターへ電話でご連絡ください。

◎詳細 営業センター収納担当 ☎385-1215